

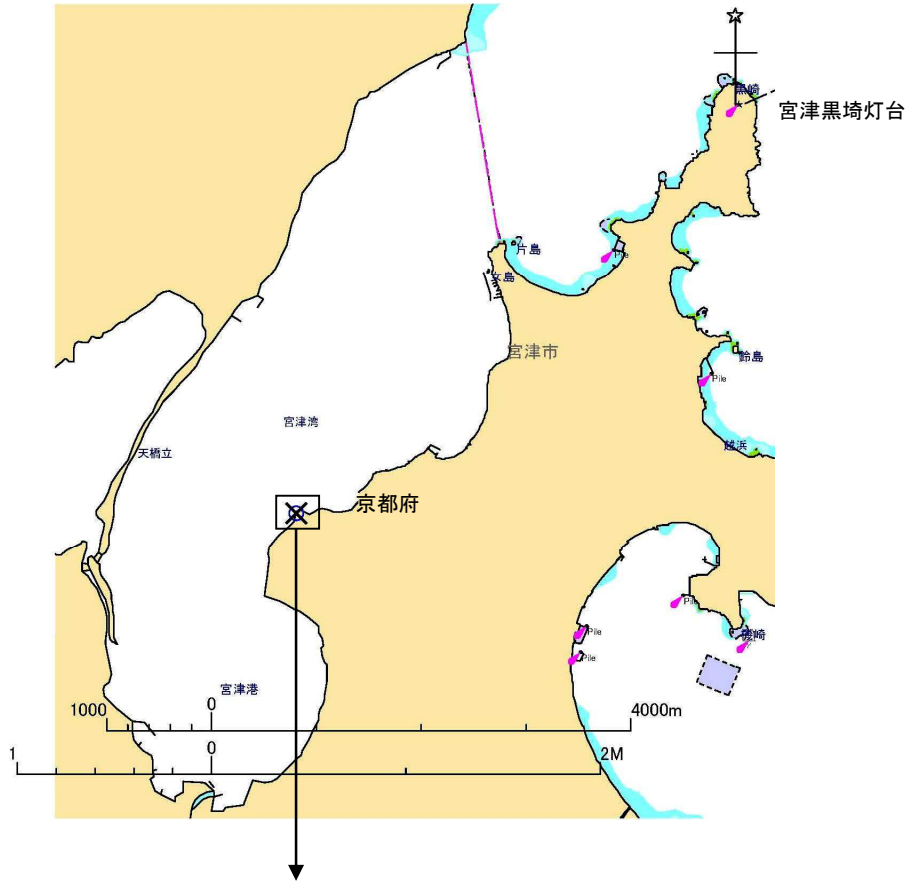
## 船舶事故調査報告書

平成27年8月20日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

事故種類	ウェイクボーダー負傷
発生日時	平成26年8月24日 16時55分ごろ
発生場所	京都府宮津市獅子地区海岸（蓬萊岩） 宮津黒埼灯台から真方位226°5,750m付近 （概位 北緯35°33.78′ 東経135°12.46′）
事故調査の経過	平成26年8月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ <sup>ファイアンドファイ</sup> Y & Y、5トン未満 270-40196大阪、個人所有 2.70m (Lr) × 1.11m × 0.46m、FRP ガソリン機関、55.9kW、平成7年8月
乗組員等に関する情報	船長 男性 62歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和52年10月14日 免許証交付日 平成26年5月14日 （平成31年5月18日まで有効） ウェイクボーダー 男性 16歳
死傷者等	軽傷 1人（ウェイクボーダー）
損傷	ウェイクボードに破損
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、獅子地区の砂浜（以下「本件砂浜」という。）を出発し、本件砂浜北東方沖において、速度計を見ながら速力を30km/h以下に調整し、長さ約20mのトーイングロープでウェイクボードに乗ったウェイクボーダー（以下「本件ウェイクボーダー」という。）を引いていた。</p> <p>船長は、ほかのグループの水上オートバイが近くで遊走を始めたので、遊走場所を変えようと思い、本件砂浜に向けて南進した後、右転して約28km/hの速力で北北西進を始めたところ、平成26年8月24日16時55分ごろ、後方からドーンという音が聞こえ、本件ウェイクボーダーが、本件砂浜西端にある蓬萊岩に衝突したことを知った。</p> <p>本件ウェイクボーダーは、衝突音を聞いた仲間により砂浜に引き寄</p>

	<p>せられ、救急車により病院に搬送され、下唇挫創及び上下歯6本の歯冠破折と診断された。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>
その他の事項	<p>船長は、家族や友人と共に08時05分ごろ本件砂浜に到着し、本船でウェイクボードを引いたり、遊走したりしており、蓬莱岩（高さ6m）の存在を知っていた。</p> <p>船長は、本事故時、本件ウェイクボーダーが、初めてウェイクボードを行うので、本件砂浜において、えい航される際の基本的な動作について指導を行った。</p> <p>船長は、本件ウェイクボーダーの様子を確認しながら遊走していたが、本事故時は、船首方を見ていたので、本件ウェイクボーダーが、左に振られていることに気付かなかった。</p> <p>船長は、本件ウェイクボーダーが、2回目の滑走で立つことができ、直進及び旋回時共に、本船の引き波近くを滑走していたので、右転する状況となっても、蓬莱岩に接近することはないと思っていた。</p> <p>船長及び本件ウェイクボーダーは、いずれも救命胴衣を着用していた。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、本件砂浜北西方沖において、本件ウェイクボーダーを引いて遊走中、船長が、本件砂浜西端付近の蓬莱岩に近寄って右転したことから、本件ウェイクボーダーが左側に振られ、蓬莱岩に衝突して負傷したものと考えられる。</p> <p>船長は、本件ウェイクボーダーが、直進及び旋回時共に、本船の引き波の近くを滑走していたので、右転する状況になっても、蓬莱岩に接近することはないと思っていた可能性があると考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、本件砂浜北西方沖において、本件ウェイクボーダーを引いて遊走中、船長が、本件砂浜西端付近の蓬莱岩に近寄って右転したため、本件ウェイクボーダーが左側に振られ、蓬莱岩に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶でウェイクボーダーを引いて遊走する際、ウェイクボーダーが、変針に伴って遠心力により振られることがあるので、付近の障害物から十分な距離をとること。</li> </ul>

付図1 事故発生経過概略図



事故発生場所  
(平成26年8月24日  
16時55分ごろ発生)

